

鉄道ピクトリアル

2017年6月号 Vol.67 No.6 通巻No.932

〈特集〉特急「あずさ」50年

■表紙 特急「あずさ」3代……………進藤 匡・池添智和・赤座安彦

(181系)高尾—相模湖 1975-3-29 進藤 匡

(189系)立川 2016-8-10 池添智和／(E351系)小淵沢—長坂 2016-12-10 赤座安彦

■グラフ

山麓のクイーン—アルペン特急半世紀の軌跡— (1～8ページ)

小林 拓・手塚正雄・河原慶明・加藤和毅・太田正行

……………進藤 匡・伊藤威信・榎田俊幸・佐藤 博・杉崎健一

澤木良直・高安慎治・井上英樹・関 周一

臨時「あずさ」に活躍する最後の189系 (96～97ページ)

……………眼目佳秀・加藤和毅・新山真吾

*

昭和41.12.12特急「あずさ」デビュー……………33

181系時代の「あずさ」…写真:星 晃・伊藤 昭・佐藤 博ほか…34

181系からE353系まで—「あずさ」スピードアップの軌跡

……………構成:編集部…40

「あずさ」「かいじ」に多数活躍した183系・189系の改造先頭車

……………写真:日向 旭ほか…46

「あずさ」を支えたもう一つの区所 幕張電車区の183系

……………写真:太田正行・佐々木晶朗ほか…50

中央東線の臨時特急PICK UP……………写真:澤田 武ほか…52

*

Pictorial Color Gallery 佇んで……………藪下 茂樹…93

「JR東日本「TRAIN SUITE 四季島」／JR九州783系「ハウステンボス」用リニューアル車／東武鉄道7000系／横浜市交通局3000V形／西日本鉄道9000形営業開始／福島交通1000系／東京地下鉄01系引退・13000系本格運行開始／西武・東京地下鉄・東急「S-TRAIN」運転開始ほか

98～103
112・114
115

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)……………104

東武鉄道の話題……………白川 淳…113

連載・昭和の鉄景(第6回)……………椎橋 俊之…116

■本 文

今月の話題:特急「あずさ」50年……………編 集 部…9

特急「あずさ」50年のあゆみ……………寺本 光照…10

8時ちょうどの「第1あずさ」に乗る—半世紀前の—高校生の試乗記—
……………太田 正行…54

特急「あずさ」に運用された181系・183系・189系

全盛期の運用と配置の推移……………小樽 宏明…62

*

鉄道の話題……………編 集 部…32

阪急電鉄7300系のあゆみ②(付7000系近年の動向)……………杉山 直哉…86

書評(627)『米子を走った電車—一日ノ丸自動車法勝寺電車部・米子電車軌道』

……………三木 理史…117

東武鉄道500系……………岡本 健一…118

続 産業用機関車を追い求めて③

八幡製鐵所製150mレール納入先の拡大と入換機関車……………圓山 伸宏…124

絵葉書のなかの国鉄ローカル線②8 夕張線……………白土 貞夫…130

3月のメモ帳……………132

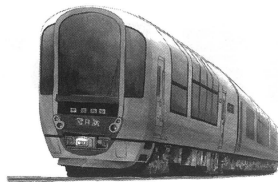
読者短信・情報ファイル……………133

後部車から……………137

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット:山本茂樹

特急「あずさ」50年

1960年代初頭、気動車特急のデビューとともに特急列車は大增発され、特急の大衆化が進んだ。さらに東海道新幹線が開業して以降は、交直流特急形電車の進出、東海道在来線から転出した直流特急形電車によって、在来幹線の特急網はさらなる拡大を見て、特急列車の時代が形成されていく。こうした趨勢の中で、従来は長距離輸送が主であった特急列車において、200km台の中距離区間にも特急の新設が進められるようになり、1966年に信越本線「あさま」とともに、12月中央本線・篠ノ井線新宿—松本間に181系電車による特急「あずさ」が誕生した。当時最短距離特急は大阪—宇野間「うずしお」があったが、本列車は四国連絡という性格を持っており、実質的には「あずさ」「あさま」はこの時代における最短特急であったともいえる。

1966年、中央本線にデビューした特急「あずさ」は2016年12月には登場以来50周年の節目を迎えた。その間、国鉄からJR東日本へと移行する中で、増発され、車両が変わり、スピードアップが進み、大きな進化を遂げている。もともと中央本線新宿—松本間は都市間需要とともに、沿線に観光地も多く行楽輸送の需要も旺盛で、他の在来幹線特急に対してその役割の幅が広く、大糸線への直通など需要に即した列車体系が見られ、列車・運転の興味も深いものがある。車両は181系から183系、189系、そして今日ではE351系、E257系が主力となっているが、さらに後継車としてE353系が開発され、目下試運転が進められており近い将来新鋭「あずさ」としてデビューすることだろう。新幹線網の整備とともに在来線特急列車が消えていくなか、中央本線「あずさ」は特急の雄として存在感を増しつつあり、今後の展開に注目したいものである。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan